

# 森会長が業界歴訪スタート

全石連

## 新体制や活動方針説明

### SS供給網堅持へ支援要請

全石連の森会長と河本博隆副会長、専務理事は6月16日の通常総会(神戸市開催)で新体制発足後初めて、自民党石油流通問題議員連盟(野田毅会長、資源エネルギー庁・元産官社など業界内外関係者らへの歴訪をスタートした。森会長は全石連の新執行部体制や各部会活動のあり方、今後の具体的な組織活動方針などを説明し、協力・支援を強く要請。全国各地の組合員・SSによる石油サプライチェーンを堅持し、災害時などのエネルギー供給、最後の砦としての重責を全うしていく方針を示した。

6月30日には石油流通問題議員連盟、横井敬一(この中で、森会長は)副会長、通議連の野田会長、7月6日訪問には、石油の小林久志社長、JXホールディングス資源エネルギー部部長、資源部部長の山下隆一郎、燃料部部長の菅野新一、石油流通課の小山菅新一、武藤副社長、廣和副社長と面談した。世代的3部会を新設



野田会長等に今後の活動方針を説明する森会長と河本副会長・専務理事(左) 木村JXHD会長(右) 山下資源・燃料部長(左) 小山石油流通課長(右) 右奥から東燃の横井常務、武藤社長、廣和副社長 小林コスモ社長(右)

## 原油コスト1円軟化

### G陸上玉、先週半ば以降急落

今週の卸売価格に影響する中東産原油の円建て週間コストは、前週比0.8円安に急落した。8日午後には東京阪エリアで94円台のSS価格がみられるまで。4週連続で累計は3.6円安。米国EIA発表で原油在庫が期待ほど減少しなかったため、欧米原油が下落した影響を受け、直近8日の東商取付ハイも、建てて前日比2.20円安の42.86円、円建てでも1.40円安の27.22円に値下がりした。一方、国内のガソリン

Table with 4 columns: 適用期間, ガソリン, 灯油, A重油. Rows include weekly price changes and trends for various fuels.

## 国内初の新市場27日取引開始

### 現物と先物が連動 JCRME

キンガエッジ・ジャマなどが利用できたパン、日本ユニコムが、決済や製品受渡し出資するJCRMEの信頼性は高い。国内(本社、港区)は今年27日から、新市場(OTC)が連動する仕組みが実SPOT Market Transfer To TOCOM(略称TTCOM)市場、TOCOM受渡制度を用いた現物取引マーケットをスタートする。インタネート上の取引で①スタンダード海上②スタンダード陸上③ノンスタンダード陸上の3取引を実施する。海上はガソリン、灯油、未課税軽油、陸上はガソリン、灯油をそれぞれ取扱。同市場で売買された価格は立会外取引を通じ、東京商品取引所のクリアリング制度や申受渡制

## VOC問題を断固阻止

### 論説

全石連と油政連の当面最大の課題であるVOC問題。森会長は全石連総会での就任あいさつで表敬訪問した石油流通問題議員連盟の幹部をはじめ、資源エネルギー庁や石油連盟の幹部との面談で必ずこの問題を取り上げ、「SS側で対応する方針は断じて許してはならない」と訴えている。VOC問題は、環境省の専門委員会においていわゆるVOC(揮発性有機化合物)の排出抑制対策をSS側に義務付けようという議論が行われている問題だ。給油時に発生するガソリンベーパーを抑制するため、吸収装置の

るガソリンベーパーなし、化石燃料などから揮発性有機化合物を税金をさらに増やして取り除くという動きが、環境省の審議会において、SS側に対策を求める議論が行われている現状を報告。森会長は「車側で対応すれば1台1万円、SS側で対応すれば1台1万円以上も上る。SSに負担を求められるようなことになった。第2の地下タンク問題となり、多くのSSが廃業、撤退を余儀なくされる。こうした事態は絶対に避けなければならない」と述べた。また、SSサプライ界を目標としていくことが重要であり、それが業界のためにも、社会のためにもなると思

能なビジネスとして成り立たせていくことが石油の安定供給につながる。その安定供給は、我々元売だけでなく、SS業界の方々に必要だ。石油業界全体として対応して、SS業界の発展を促すことが必要だ。このほか、熊本の復興・復興に大きく貢献した。今高の46.52円と4ヶ月連続で前月を上回った。円建ては、原油価格の上昇に加え、為替が109.48円と前月比円安基調で推移したため、3964円に値上がりし、昨年12月以来、6ヶ月ぶりに3万円台に乗せた。

Advertisement for Tiara Coat Premium car window film. Features a car image and text: 'ガラス系コーティング', '厚膜', 'ティアラコート プレミアム', 'ガチッと硬く', 'キラッと輝く', 'スーッと落ちる'.



# 近畿

7月に入った近畿地方のガソリン市場は好市況地域でセルフSSのフリ一価格が121円以上、激戦地では117円前後という格好になっている。価格差は4円以上だが、今後の市場動向には期待と不安が交差している。採算重視のSSは「需要期にコスト転嫁をしたい」と採算姿勢を崩さないが、激戦地の業者は「安値拡張姿勢が強まっている」と警戒感を強めている。

## 夏商戦に期待と不安



採算性を重視するSSでは124円のガソリン価格を設定しているが...

### 需要期こそ採算重視で 激戦地の競争過熱懸念

滋賀県や兵庫県では、こうした地域の激戦地では117円や115円という系列や程度度のガソリン価格を設定するセルフSSが増えている。大阪府や奈良県、和歌山県でも安定した市場では同様の価格帯で推移している。京都府でも安値拡張姿勢を強めるSSの周りにSSからは「いまだに113円の価格で販売する系列SSがある」と不安感を強めている。

近畿支局 (大阪府大阪市東淀川区) 06(6366)2917

の信じられない」との声も上がり、コスト上昇局面に不安感を覚える業者も多い。

## 大阪市場でPB攻勢

背景に 広がる格差10円超も

大阪府内の激戦地で、当り前となっていたプライベートブランドPBの安値拡張姿勢が、PBSSの安値攻勢が目立つ。広域展開するPB業者のSSは、価格差10円以上という格差まで確認され、周辺一般セルフSSとの価格差は10円以上と拡大している。PBSS攻勢の背景には、業転市場の軟化があるものとみられ、需要期に入り、地場業者の不安は募っている。

## 軽油インタンク需要狙い関東へ積極進出

近畿地方の軽油インタンク市場が伸び悩む中、卸業者が関東地方へ進出する動きを強めている。関東以北で軽油市場が活発であることが大きな要因で、卸業者が新規需要を求め、関東進出に積極的になっているとみられる。

### 関西の卸専門業者

大阪府内の卸専門業者は「需要が伸び悩む中、卸業者が関東地方へ進出する動きを強めている」と見ている。関西の卸専門業者は「需要が伸び悩む中、卸業者が関東地方へ進出する動きを強めている」と見ている。

# 中国

中国支局 (広島県広島市東区) 082(264)6003

## 新執行部役割分担決まる

### 広報委員会を独立設置

広島商工協(大野徹理事長)はこのほど広島市内のホテルで理事会を開催し、2016年度役員役割分担を決めた。今回の役員分担の特色は、これまで総務委員会が担当していた広報部門を独立させて広報委員会として担当者を決めたと、経営委員会に経営安定化担当と研修会担当を設置した点である。

## 経営委には2名の担当理事

新設された報委員的な組合活動への参加が経営安定化関係を担うことになる。このほか、総務委員には三永真義理事が選任され、一般消費者に委員が引き継ぎ担当として、理事、信用保証委員、組合員への報告活動、本理事が研修会関係委員、信用保証委員、理事がそれぞれ引き継ぎ担当となる。



大野理事長から表された

## 岡山 軽油引取税額

15年・2%減の174億円

年	徴収額(千円)	前年比
2011年	18,050,536	0.5%
2012年	17,848,171	▲1.1%
2013年	17,874,126	0.1%
2014年	17,848,519	▲0.1%
2015年	17,475,478	▲2.1%

岡山県がこのほど、油引取税徴収額は17億4754万7800円、前年比2.1%減となった。これは、前年並みとなった。岡山県は、油引取税の減額を前年並みに戻すことを目指している。

## 中国経産局

今年度の取組方針まとめる

興す 伸ばす 活かす で飛躍

中国経産局は、今年度の取組方針をまとめた。同局は「中」国地域がその強みを活かし、自立的に発展することを目指している。また、地方創生に関し、地方自治体と連携し、地域活性化を図ることも重要な課題としている。

## 元売再編に募る不安

最盛期に比べほぼ半減したといわれる近畿地方のSS数。減少傾向は鈍化していることは確かだが、今後の展開には不安を覚える業者も多い。不安を感じる最大の要因は元売再編であり、その余波は今後徐々に現れてくると予測する業者もいる。

### 企業文化の差どう調整 系列離脱加速見込みも

一方、東燃ゼネラル石油の業者も「企業文化として受け入れられるかが問題」とJXとの統合に懐疑的な一面をのぞかせ、仕切りや調整などを求めている。



また、地方創生に関し、地方自治体と連携し、地域活性化を図ることも重要な課題としている。また、地方創生に関し、地方自治体と連携し、地域活性化を図ることも重要な課題としている。

タイヤを替えただけで、なんと、運転の疲れが減ります!

疲れにくいという安全性能

だから運転の負担を軽減、疲れにくい。

プレイズ新提案。新しい安全価値へ。

NEW Playz

http://tire.bridgestone.co.jp/playz/

株式会社ブリヂストン

HITACHI Inspire the Next

水素エネルギーを身近なものに。

クリーンな未来へ向けて、水素を利用した燃料電池車が走り出しています。あの街でも、この街でも、燃料電池車をあたりまえのように見かける日をめざして、当社では水素ステーションの設置・普及をお手伝いしています。

国内トップシェアを誇るCNGディスプレイベンサーの信頼の技術をベースに、小型で高性能・高信頼の新型水素ディスプレイベンサーを開発。水素ステーションの創造を通して、燃料電池車の普及をサポートします。

●小型熱交換器内蔵による省スペース設計 ●ラウンドシャッターやガラス採用のスマートデザイン ●ディスプレイベンサーの両サイドでの充填が可能 ●SS-POS対応で既存のSSにも併設可能

TOKICO NEORISE

日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社

